

## Fiona Tan Recent Works



Video still from *Ghost Dwellings III*, 2013-2014  
© Fiona Tan

ワコウ・ワークス・オブ・アートでは2016年7月23日より、オランダのアーティスト、フィオナ・タンの個展を開催致します。

当画廊での2年ぶり8回目となる今回の個展は「Recent Works」と題し、日本未公開の映像作品2点を中心に構成されます。

今回のメインの展示となる《Ghost Dwellings III》は、〈Ghost Dwellings〉三部作のうちのひとつで、フィオナ・タンが2013年、震災後の福島を訪れて撮影した映像作品です。同シリーズのI、IIでは、財政破綻をきたしたアメリカのデトロイト市と、2008年のリーマンショックの影響によって廃墟同然となったアイルランドのコークの住宅街で撮影をおこなっています。

《Apocalypse》は、フランスのアンジェ城の中にある中世期最大のタペストリー「黙示録のタペストリー(Tenture de l'Apocalypse)」を接写した映像作品です。フランスとイギリスが領有権や王位継承をめぐる争った100年戦争のさなか、1373年から10年の歳月を費やして織られたこのタペストリーに描かれているのは、新訳聖書に出てくるヨハネの黙示録の物語です。タペストリーの絵柄の細部をとらえた映像にオーバーラップして水平方向に流れる黙示録の赤い大小のテキストが、緊急速報や株価のティッカーを思わせます。

### Fiona Tan フィオナ・タン

1966年インドネシア・プカンバル生まれ。中国系インドネシア人の父親とスコットランド系オーストラリア人の母親のもと、幼少期をオーストラリアで過ごし、88年にオランダへ移り住む。2009年のヴェネツィア・ビエンナーレでオランダ館代表をつとめた他、これまで横浜トリエンナーレ(2001)、ベルリン・ビエンナーレ(2001)、ドクメンタ 11(2002)、イスタンブール・ビエンナーレ(2003)、ICP トリエンナーレ(2003)、シドニー・ビエンナーレ(2006)、ヴェネツィア建築ビエンナーレ(2010)など、数多くの国際展に参加。近年は日本においても注目度が高まり、金沢 21 世紀美術館(2013)、東京都写真美術館(2014)、国立国際美術館(2014-2015)で個展を開催している。2016年1月、初の長編映画『History's Future』がロッテルダム国際映画祭でプレミア上映され、タイガー・アワード等にノミネートされた。現在、静岡のIZU PHOTO MUSEUMにて開催中の個展では、富士山を題材とした77分の最新映像作品『Ascent』を展示している。

会 場：ワコウ・ワークス・オブ・アート

住 所：東京都港区六本木6-6-9 ピラミデビル3F

T:03-6447-1820 F:03-6447-1822 M:info@wako-art.jp

(都営大江戸線/東京メトロ日比谷線 六本木駅 3番出口徒歩3分)

会 期：2016年7月23日(土) - 9月21日(水) 11:00 - 19:00 日月祝・休

※夏期休廊 8月14日(日) - 8月22日(月)